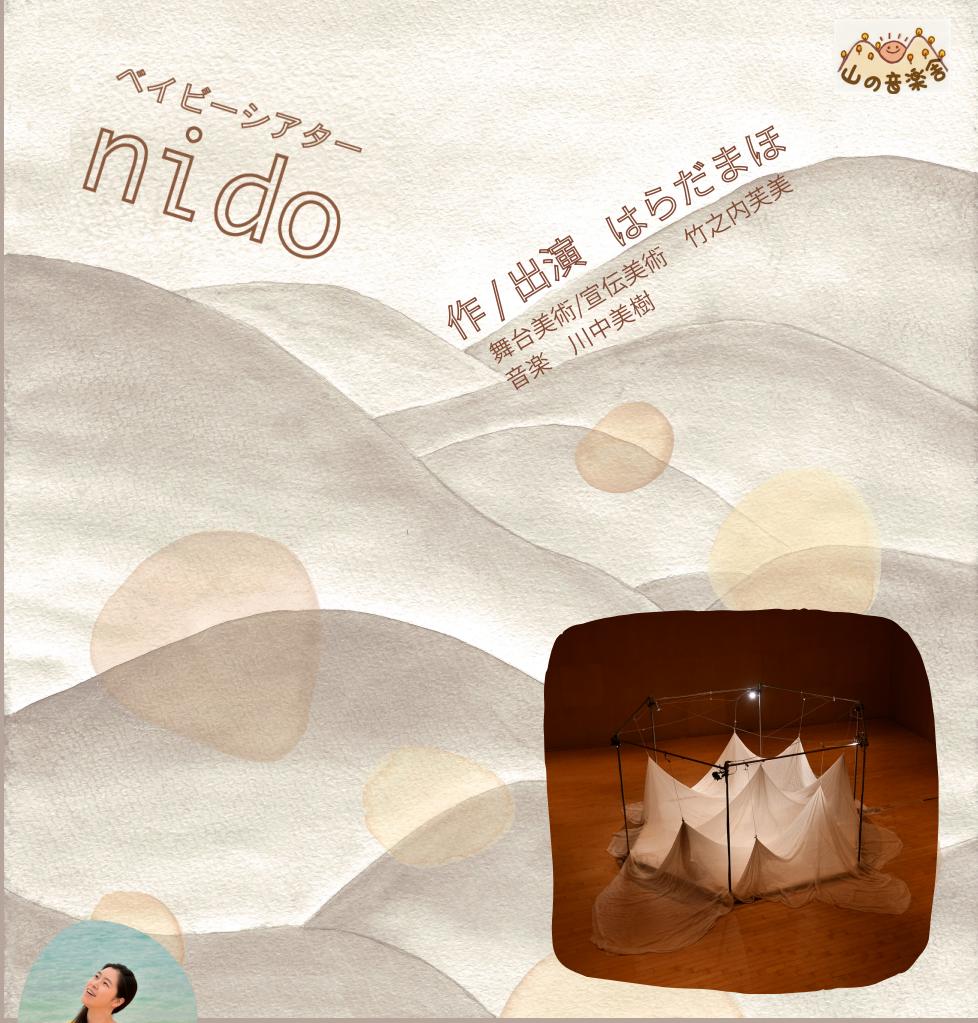


A promotional image for the stage play 'nido'. The background features a textured, light-colored surface with large, overlapping circular shapes in shades of beige, tan, and cream. In the upper left, the word 'nido' is written in a stylized, brown font, with 'nido' above 'ベイビージスター'. In the upper right, there is Japanese text: '作/出演 はらだまほ' (Written by/Performed by Harada Maho), '舞台美術/宣伝美術 竹之内美美' (Stage Set Design/Propaganda Art Mami Takeuchi), and '音楽 川中美樹' (Music Kimi Kawachi). A small circular logo in the top right corner contains a smiling sun-like face and the text '山の音楽室'. On the far left edge, vertical Japanese text reads: 'そっちへと ひょいっとあっちを引っ張って とんとこっちを押してみる  
nido? nido? ニド? ニド? よつといしょつじきりを見渡してあっちへこっちへ'.



はらだまほ  
振付家・パフォーマー

立教大学現代心理学部映像身体学科卒。言語と身体の関係性を中心に「おどり」について多面的に思考し、動作から「おどり」になる瞬間や身体が踊り出す瞬間にこだわって作品を紡ぐ。ジャンルを問わずパフォーマンス・振付・ワークショップなど多様な活動を展開している。2015年より乳児のための舞台芸術に取り組み、ダリア・アチン・セランダー(セルビア)、アリツィア・ルブザック(ポーランド)など海外の演出家の作品に多数出演。国内ツアーをはじめ、ポーランド公演やイタリア公演、北京公演に参加した。乳幼児親子から中学生を対象とした身体WS、アートWSなども行う。現代舞踊協会正会員。

美術家と振付家のコラボレーションによって生まれた乳児親子のためのダンス作品です。美しい空間、ユニークな動き、素朴な音など多くの要素が組み込まれており、小さな人もかつて小さな人だった人もゆったりとした時間を楽しめます。ただ見るだけでなく、世界を作っていく/動かしていくことを感じながら豊かな時間と共に過ごしてみませんか？